

平成26年12月24日(水)
平成26年度 第7回
大阪府河川整備審議会

参考資料 1

一級河川淀川水系神崎川下流ブロック 河川整備計画(原案)の概要

平成26年12月
大阪府西大阪治水事務所

■河川整備計画とは？

*「河川法」に定められているもの

◇「河川整備基本方針」に基づき、
河川管理者が定めるもの

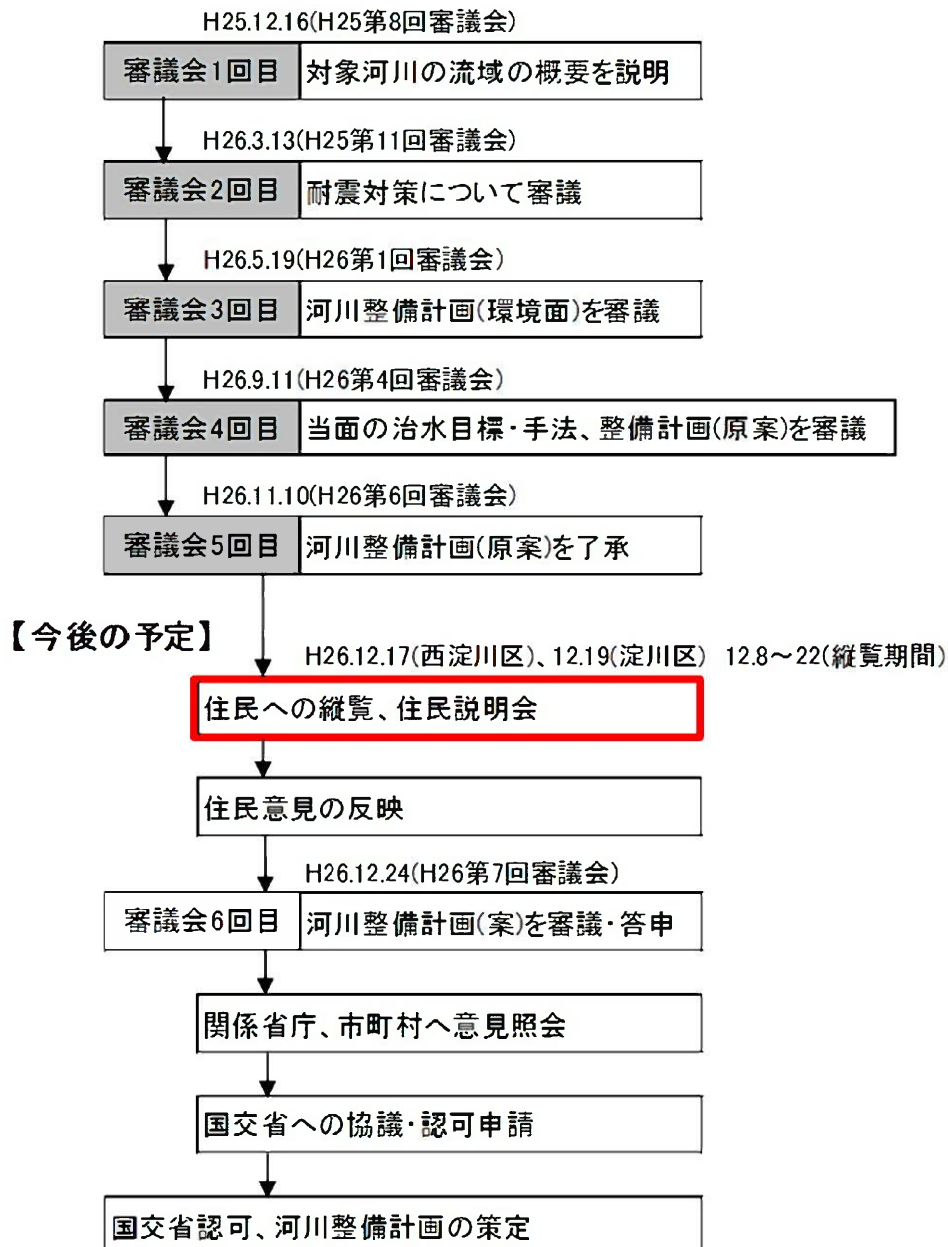
<手続き>

- 関係地方公共団体の意見を聞く
- 学識経験者や関係住民の意見を聞く
- 策定後、公表する

<内容>

- 20～30年後の河川整備の目標を明確にする
- 具体的な河川の整備の内容を明らかにする

策定スケジュール



■神崎川下流ブロックとは？

● 神崎川

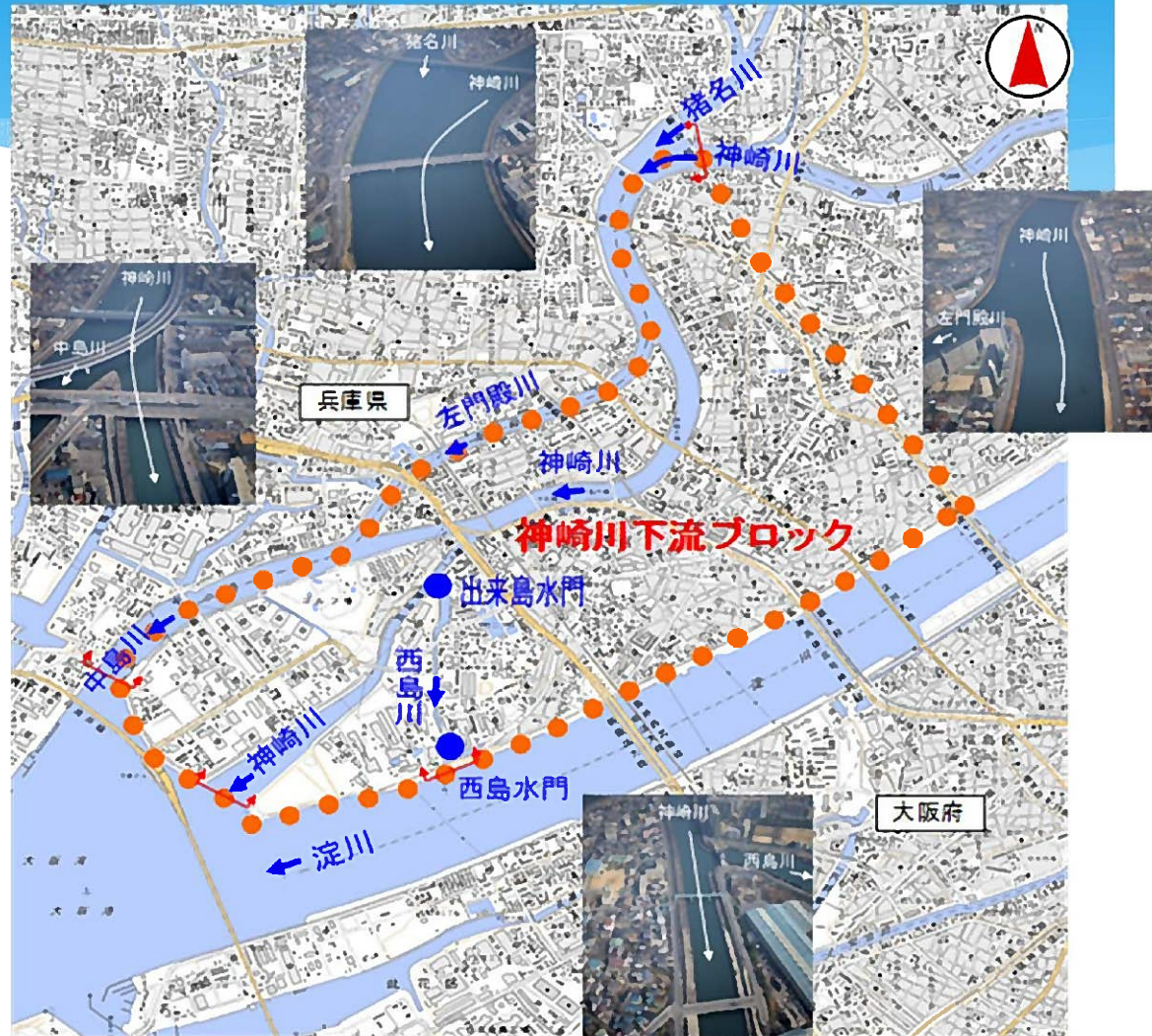
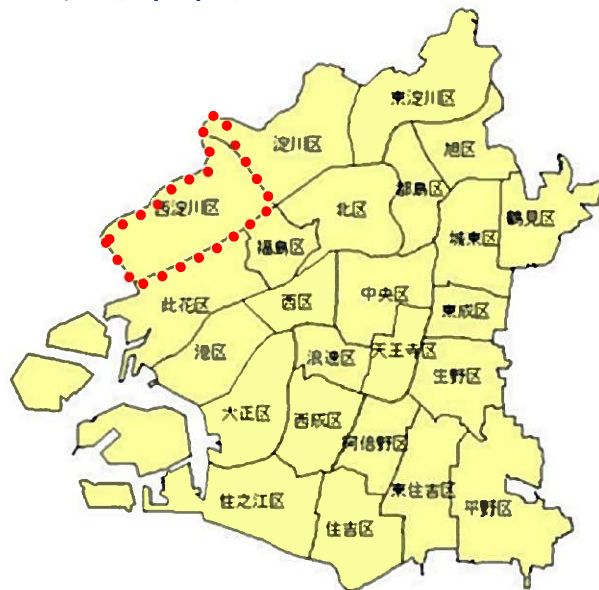
(猪名川合流点より下流)

● 中島川

● 左門殿川

● 西島川

の4河川を含む流域を対象とする範囲

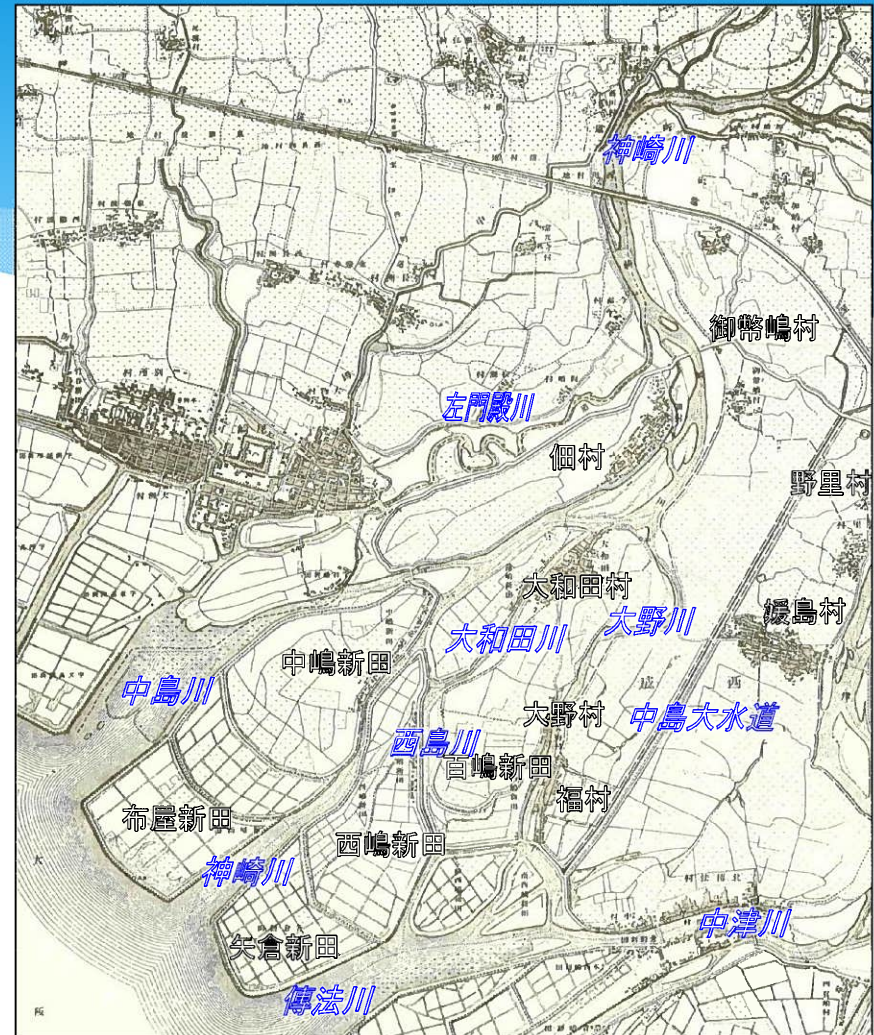


流域の特徴

なにわの八十島



近世中期の河川状況



明治19年の地形

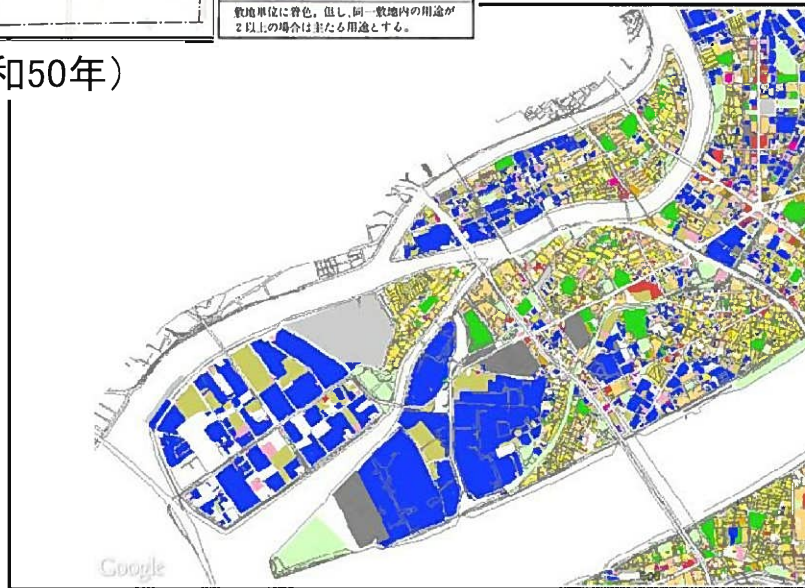
土地利用状況の変遷



凡 例	
	官公署施設
	運輸施設
	供給・処理施設
	文教施設
	医療厚生施設
	興行施設
	遊興宿泊施設
	販売商業施設
	業務施設
	工業施設
	住居施設
	農林漁業施設
	その他の施設

敷地単位に着色。但し、同一敷地内の用途が2以上の場合は主たる用途とする。

西淀川区の土地利用状況(昭和50年)

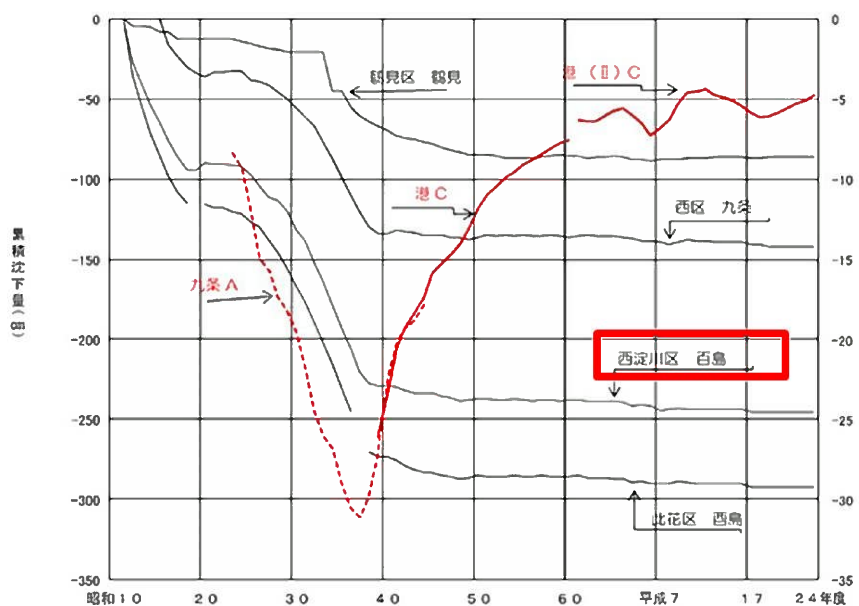


凡 例 LEGEND	
	一戸建住宅 Detached Houses
	長屋建住宅 Tenement Houses
	共同住宅 Apartment Houses
	販売商業施設 Retail-Wholesale Commercial Facilities
	業務施設 Offices-Business Facilities
	文教施設 School/Libraries/Temples/Recreational Facilities
	医療・厚生施設 Hospitals and Welfare Facilities
	遊興・娯楽・サービス施設 Entertainment/Amusement and Service Facilities
	宿泊施設 Hotels-Lodgings
	工業施設 Factories-Industrial Facilities
	供給・処理施設 Supply-Treatment Facilities
	運輸・交通施設 Transportation-Communication Facilities
	官公署施設 Government-Public Offices
	その他の施設 Other Facilities
	公園・緑地・墓地等 Parks/Gardens/Cemeteries
	建物のない土地 Vacant Lots

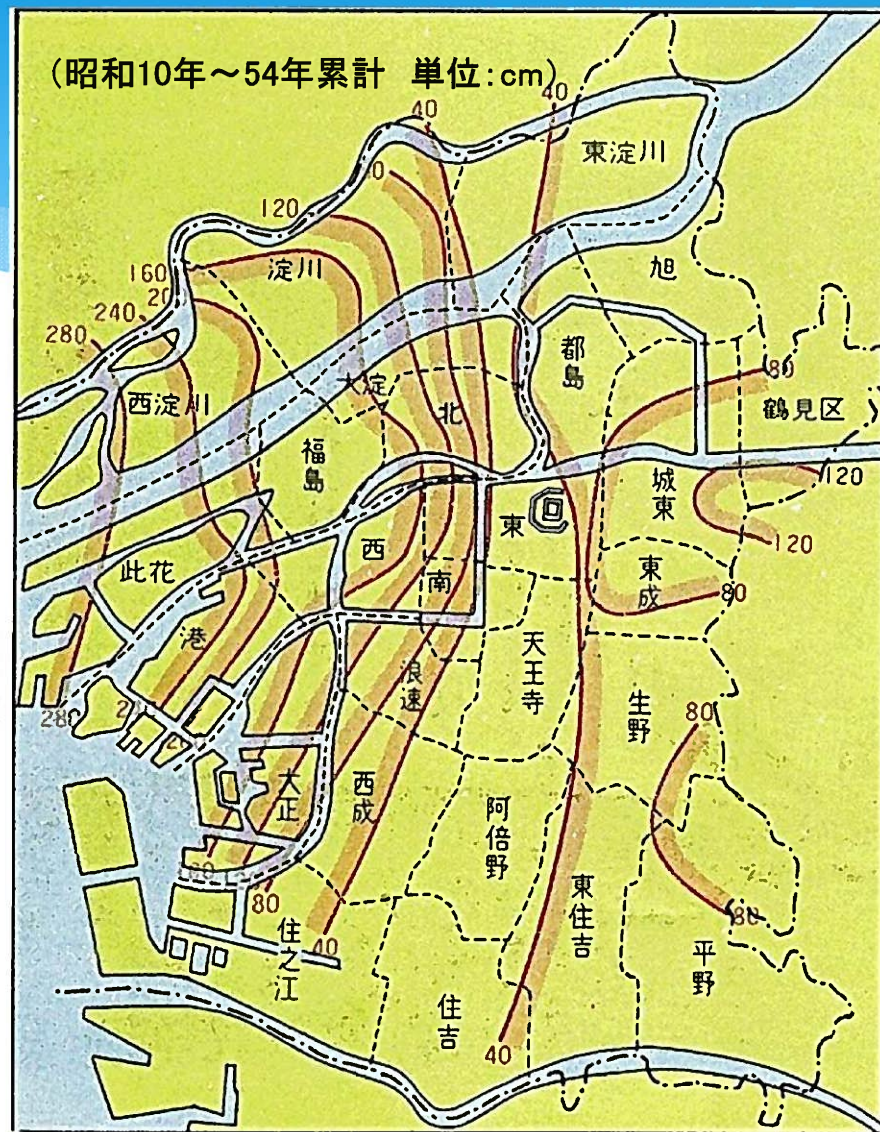
敷地単位に着色。但し、同一敷地内の用途が2以上の場合は主たる用途とする。

西淀川区の土地利用状況(平成19年)

大阪市内の地盤沈下状況

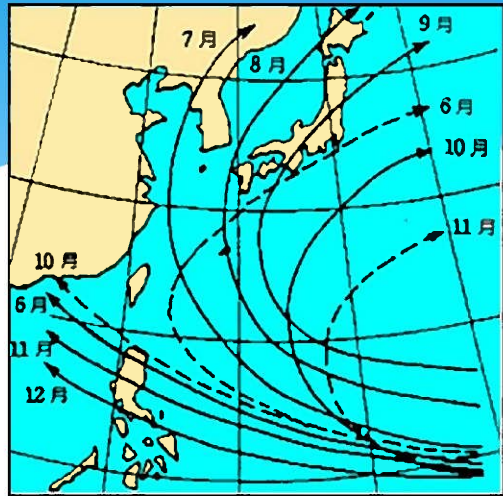


大阪市内の累積地盤沈下量



大阪市内の地盤沈下等高線図

大阪湾の形状と高潮被害



台風の月別の主な経路

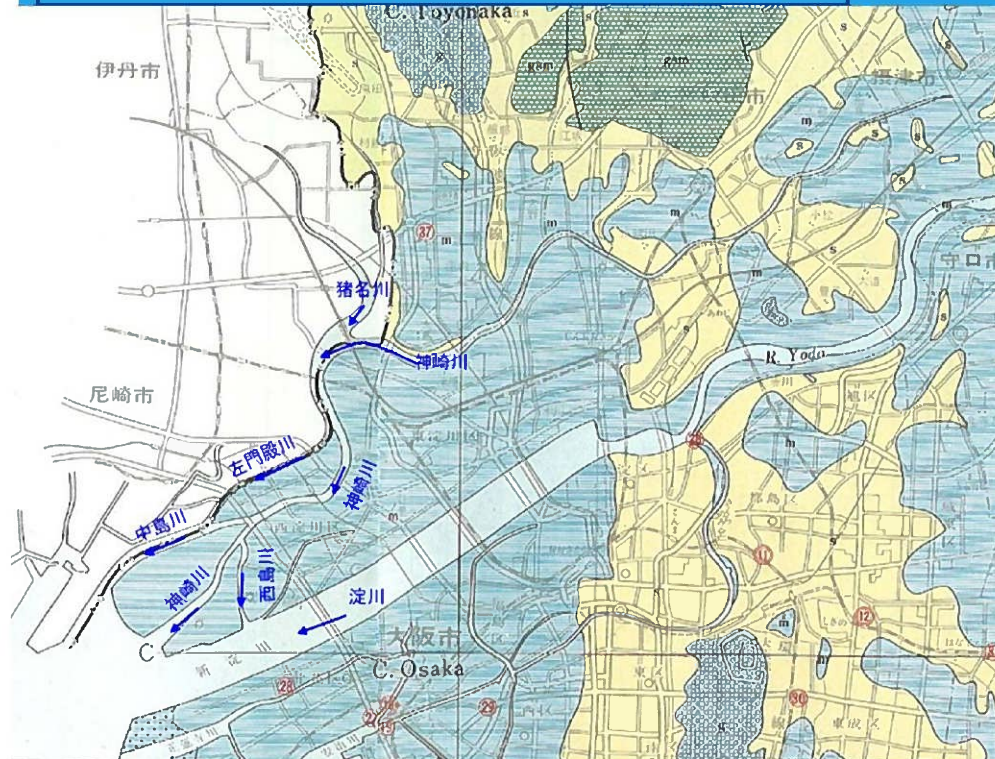


三大台風の通過経路

大阪湾の湾奥に位置



表層の地層と液状化の状況



表層地層図

凡例 Legend

段丘地層からなる。大阪府南部、北摂山麓、生駒西麓に分布する。分布高度により、低位段丘地層と中・低位段丘地層に分けられる。高位段丘地層は厚さ5~10mで褐色色の風化層から成る。分布は樟葉山、千早丘北部、枚方市東部などに限られている。中位と低位の段丘地層の区分は明確が残されているが、いずれも広い谷地を作る。厚さ10~15m前後の中・大規模で、中部に砂層やシルト層を挟む場合もある。この地層は平野の地下にも分布しており、大阪市街地では天満層と呼ばれる支持層を作るものと見られる。(更新統後期)

沖積砂層からなる。主に平野に分布しており、沖積粘土層を伴う。自然堤防、扇状地など低地を作る。また、丘陵地や山間の谷底平野にも分布する。地盤としては低位の粘土層の分布に注意を要する。なお、断面分類図では支持層の深さ15m以上の部分は泥層を主とする地層に含めた。(沖積統)

主に沖積粘土層からなる。型次第、淀川沿線及び東大阪の平野部に広く分布する。大阪市街地では稲田層と呼ばれる海成粘土層で、厚さ20~30mに達するN値0~3回の軟弱層である。東大阪にも厚さ30m以上に達する軟弱層の分布が知られている。地盤沈下、地震災害等、問題の多い地層を作る。(沖積統)

丘陵地に分布する。大阪層群と呼ばれる地層で、泥、砂、礫の粒径を区分が行われているが、本図では総尺の制約で、一括した。砂礫層は良好な地盤を作る。従層も約15~20m以上に達し、よく締っている。しかし、礫層部に沿って急傾斜したり、破砕を繰り返しており、粘土層の分布地では地盤への注意が必要である。海成粘土層も含まれており、風化すると強粘性粘土となる。なお、断面分類図では海成粘土層と異なり、比較的粘土層の卓越する丘陵地を区別した。(更新統前期)

礫 Gravel
 Sand
 泥 Mud
 泥、砂、礫互層 Mud, sand and gravel alternation

阪神・淡路大震災による河川沿いの被災状況



神崎橋上流右岸



左門橋上流

自然環境

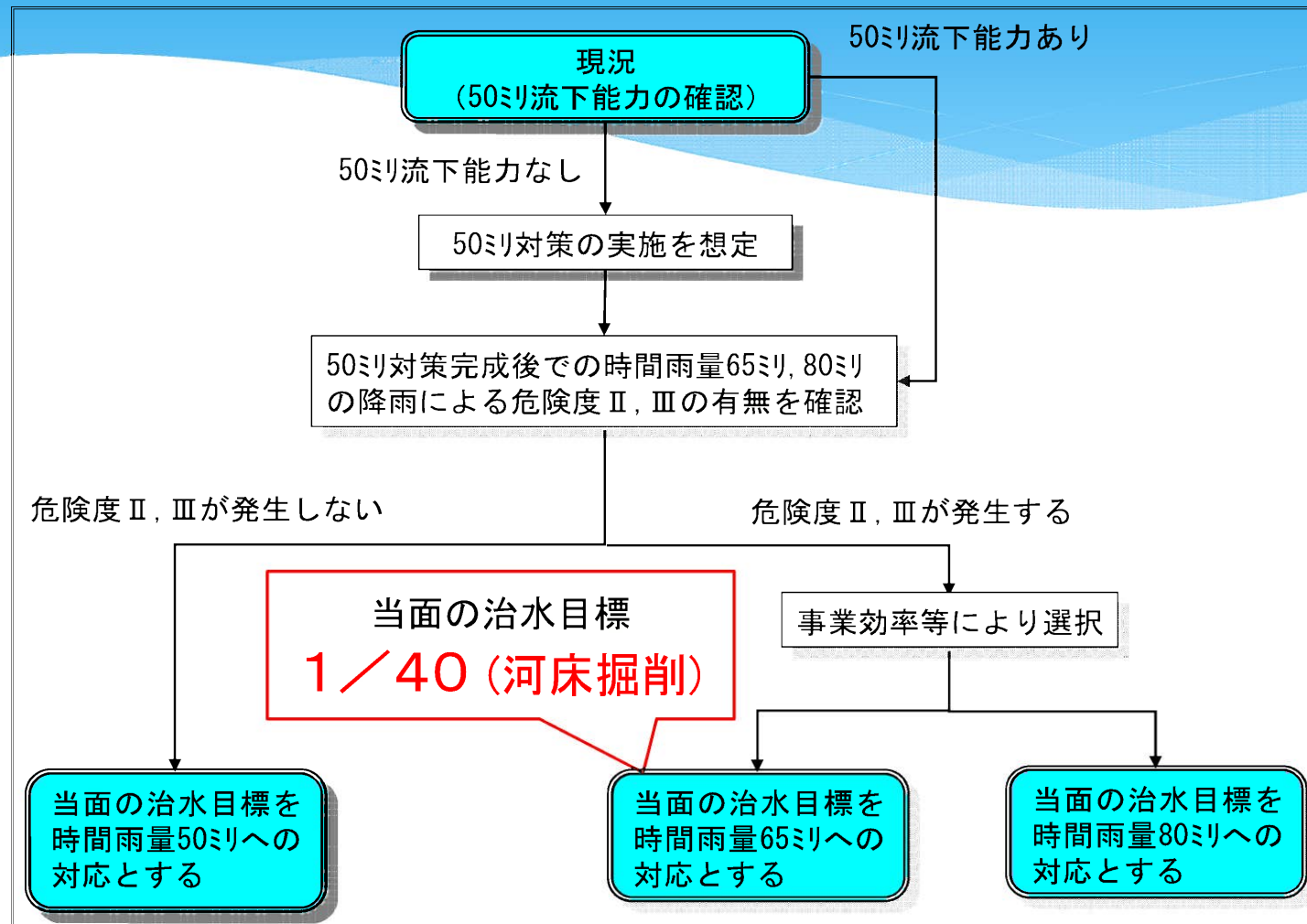


矢倉海岸

■ 治水対策

洪水対策

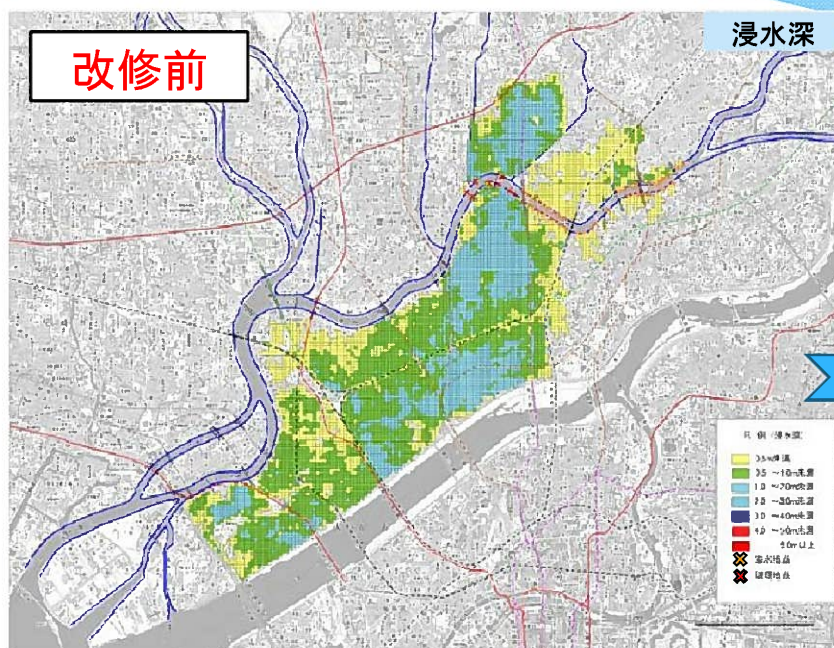
当面の治水目標の設定の仕方フロー



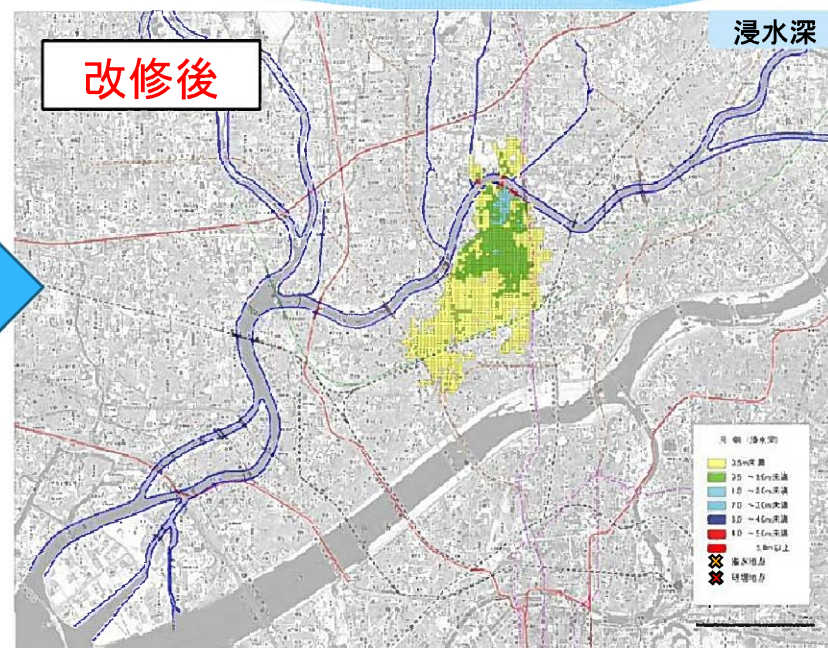
「今後の治水対策の進め方」(平成22年6月策定)より

河川改修(河床掘削)の効果

現況河道に1/100程度の降雨



1/40対策河道に1/100程度の降雨



高潮対策

防潮堤方式による高潮防御

防潮堤、防潮鉄扉、防潮水門等
により高潮を防御する体制を確立

計画防潮堤高
(O.P.+8.10m(河口部)～
O.P.+6.8m(猪名川合流点))



神崎川: 左門殿川分派後



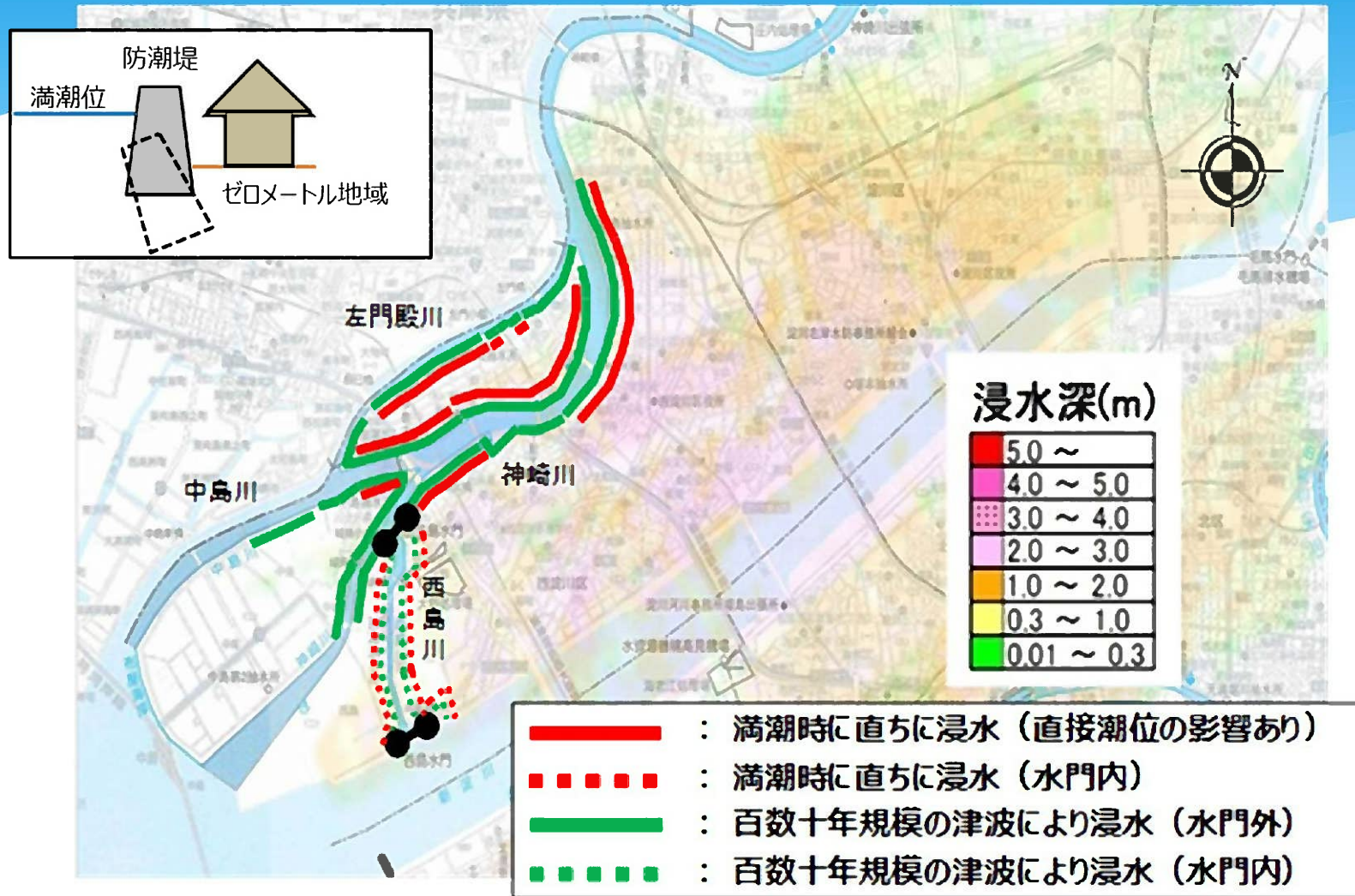
神崎大橋左岸 防潮鉄扉



神崎川: 出来島大橋下流

地震・津波対策

南海トラフ巨大地震における浸水想定図



「第5回南海トラフ巨大地震土木構造物耐震対策検討部会」公表資料より

地震・津波対策の整備対象範囲

— 整備対象区間



神崎川筋(大阪市内河川)の耐震補強施工状況

■ 施工状況写真(事例)

[中島川]

施工中(地盤改良施工時)



施工中(地盤改良施工時)

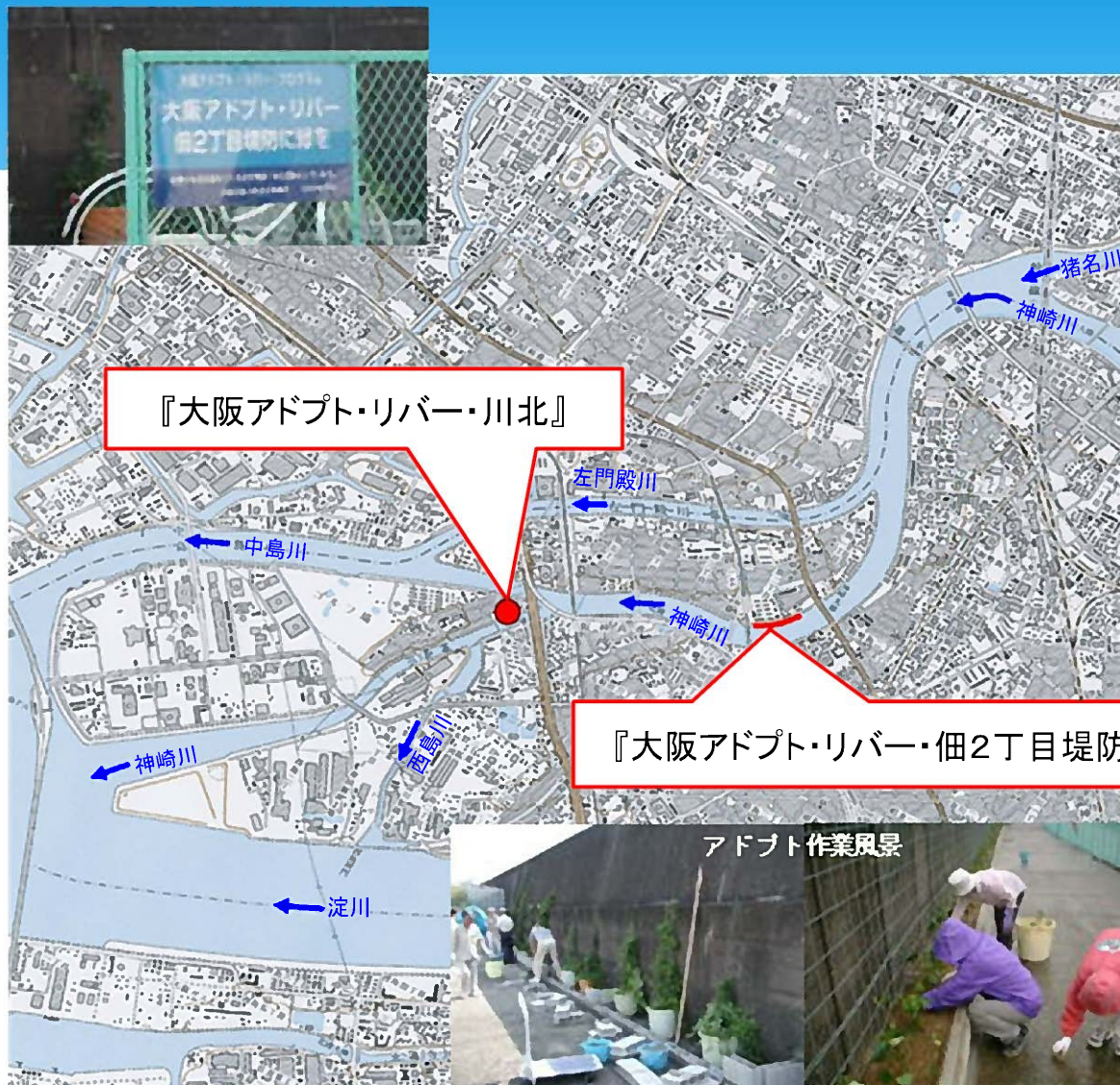
■河川管理施設の管理など

河川管理施設の管理

(防潮堤、護岸、水門など)

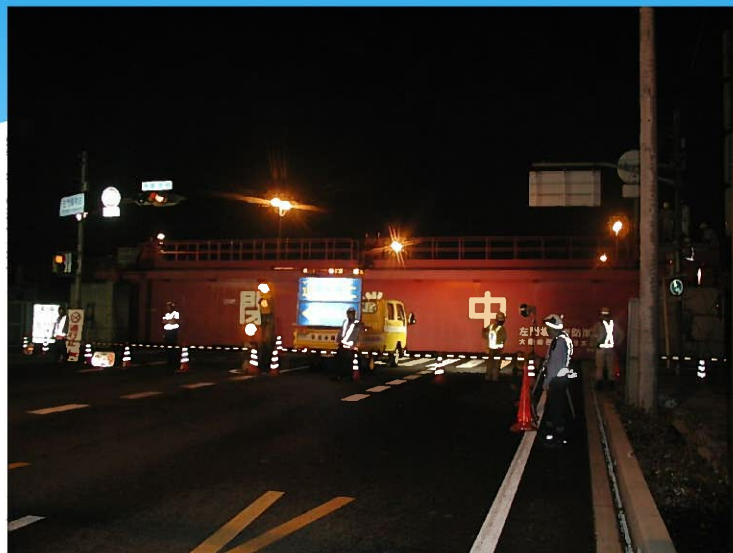
- * 許可工作物の管理
(取水堰や橋梁など)
- * 河川環境の管理
(良好な水環境、自然環境など)
- * 河川空間の管理
(自転車道、堤防道路など)
- * その他
(管理の高度化・効率化など)

アドプト・リバー・プログラムの推進



関係機関と連携した水防活動の実施

国道2号夜間鉄扉閉鎖訓練のようす



神崎川左門橋

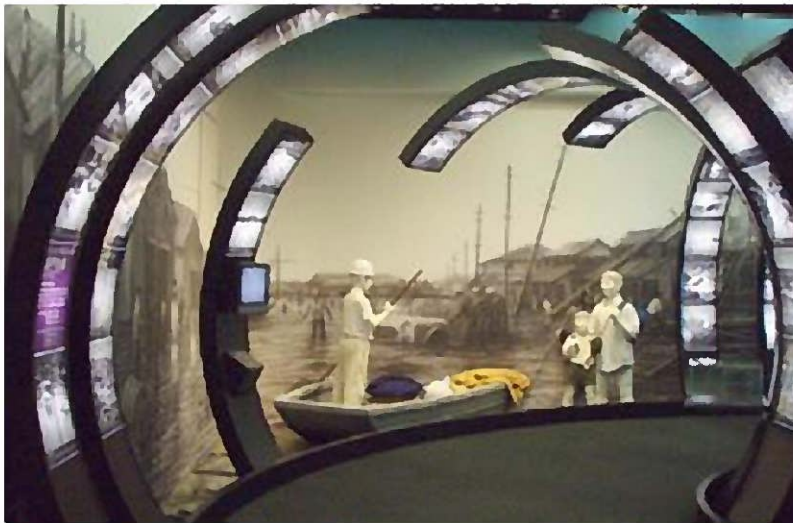


訓練本部

■ 河川情報の提供

- ◆ 洪水リスク表示図の公表
- ◆ 「おおさか防災ネット」などインターネットを活用した情報の提供や、「防災情報メール」などによる気象情報、避難情報等の活用
- ◆ 防災学習の推進
- ◆ 津波・高潮ステーションの活用

津波・高潮ステーション(西区江之子島)の防災学習への活用



高潮被災トンネル



津波災害体感シアター(ダイナキューブ)